

地球温暖化対策計画書

1 地球温暖化対策事業者の概要

地球温暖化対策事業者 (届出者)の名称	アスティ開発株式会社
地球温暖化対策事業者 (届出者)の住所	名古屋市千種区京命一丁目1-32
工場等の名称	アスティショッピングセンター
工場等の所在地	名古屋市千種区京命一丁目1-32
業種	不動産業、物品賃貸業
業務部門における 建築物の主たる用途	物販店
建築物の所有形態	賃貸ビル等(賃貸ししている建築物)
事業の概要	ショッピングセンター賃貸借及び管理、運営
計画期間	令和4年4月1日 ~ 令和7年3月31日

2 地球温暖化対策計画書の公表方法等

公表期間	令和4年5月19日 ~ 令和7年3月31日		
公表方法	掲示 閲覧	(場所)	
	ホーム ページ	(HPアドレス)	
	冊子	(冊子名・ 入手方法)	
	その他	(その他詳細) アスティ開発株式	
公表に係る問合せ先	052-776-1001		

指針第1号様式

3 地球温暖化対策の推進に関する方針及び推進体制

(1) 地球温暖化対策の推進に関する方針

- 1、ショッピングセンター全体での省資源、省エネルギー活動の取り組み。
- 2、廃棄物の分別の徹底と再資源化への取り組み。
- 3、店長会等での環境教育及び情報の共有。

(2) 地球温暖化対策の推進体制

地球温暖化対策推進委員会

委員長	アスティ開発株式 代表取締役	木村 義臣
副委員長	支配人	村里 仁士
	ヤマナカ アスティ店店長	堀岡 隆宏
	あかのれん アスティ店店長	宮地 光代
	アスティスポーツマネージャー	鈴木 正美

温暖化推進会議

議長	支配人	村里 仁士
推進委員		各テナント店長 設備管理担当

4 温室効果ガスの排出の状況

基準年度（令和3年度）の温室効果ガス排出の状況

①エネルギー起源二酸化炭素の排出量		1,501	t-CO ₂
①を （温室除く 二酸化炭素 換算） 排出量	②非エネルギー起源二酸化炭素（③を除く。）		t-CO ₂
	③廃棄物の原燃料使用に伴う非エネルギー起源二酸化炭素		t-CO ₂
	④メタン		t-CO ₂
	⑤一酸化二窒素		t-CO ₂
	⑥ハイドロフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑦パーフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑧六ふっ化硫黄		t-CO ₂
	⑨三ふっ化窒素		t-CO ₂
	⑩エネルギー起源二酸化炭素（発電所等配分前）		t-CO ₂
温室効果ガス総排出量（①～⑩合計）		1,501	t-CO ₂

5 温室効果ガス排出量の抑制に係る目標

(1) 温室効果ガス排出量の抑制目標

温室効果ガスの抑制の目標設定方法	総排出量
------------------	------

項目	基準年度 令和3年度 排出量（実績）		目標年度 目標排出量		令和6年度 目標削減率	
	温室効果ガス 総排出量	1,501	t-CO ₂	1,456	t-CO ₂	3.0

項目	基準年度 令和3年度 排出量（実績）		目標年度 目標排出量		令和6年度 目標削減率	
	原単位あたりの 排出量		CO ₂		CO ₂	

(2) 目標設定の考え方

空調に関しては天候という大きな変動要件がある為、一機に目標値を低減させるよりも前年並みに目標を立て着実に推し進めたほうが現実的との判断。

備考1 温室効果ガスの排出の状況のうち、エネルギー起源二酸化炭素を除く温室効果ガスの排出量については、温室効果ガスの種類ごとに3,000トン以上の場合に限り計上してください。

備考2 温室効果ガス総排出量とは、エネルギー起源二酸化炭素の排出量と、種類ごとに3,000トン以上の温室効果ガスの排出量の合算をいいます。

備考3 原単位あたりの排出量とは、事業活動の特性を的確に示すものとして事業者自らが選択する工場等の床面積、製品の出荷量その他の指標になる単位量あたりの温室効果ガス排出量をいいます。

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置

(1) 自らの事業活動に伴い排出される温室効果ガスの抑制に係る措置

取組の区分	具体的な取組の内容	取組の目標
空調	<ul style="list-style-type: none"> ・空調機、冷温水発生機の冷房28℃、暖房20℃のきめ細かな運用。 ・空調機のフィルター等こまめなメンテナンスにより効率を高める。 	
節電	<ul style="list-style-type: none"> ・パソコン、コピー機等は離席時、退店時に電源を落とす。 ・デマンドアラートによる夏季の電力コントロールの実施。 	
同友店	<ul style="list-style-type: none"> ・同友店間のエネルギー使用量等の情報を店長会等で共有する。 ・廃棄物の分別の徹底とリサイクル化の促進。 	

指針第1号様式

(2) 再生可能エネルギー及び未利用エネルギーの利用

ア これまでに実施している再生可能エネルギー及び未利用エネルギーの利用

導入年度	設備等の種類	概要（規模、性能、発生エネルギー量等）

イ 計画期間における再生可能エネルギー及び未利用エネルギーの利用

--

(3) 環境価値（クレジット等）の活用

--

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置

--

(5) 「環境保全の日」等に特に推進すべき取組

--